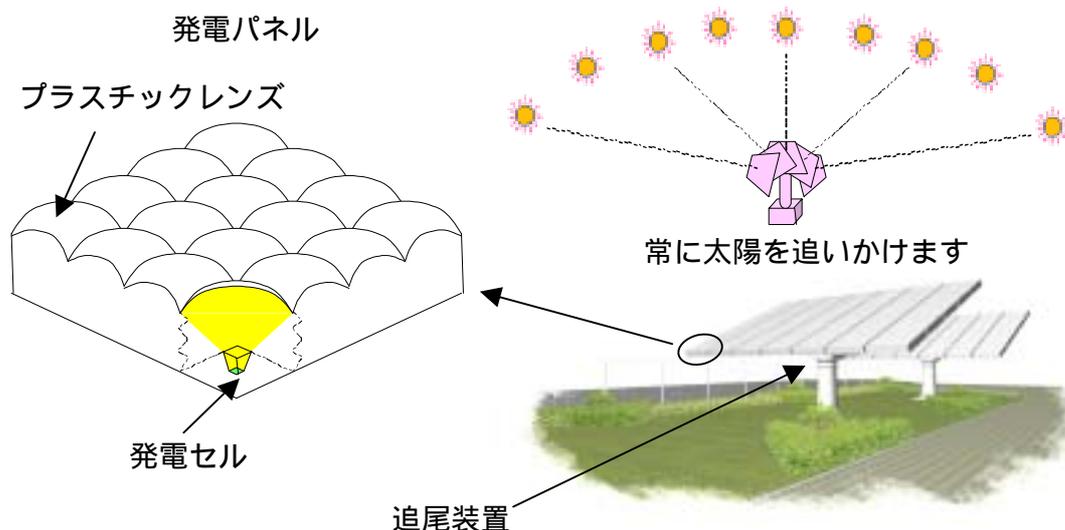


【用語説明】

発電プラント	電力事業を目的として発電を行う、比較的規模の大きい発電施設。いわゆる発電所。
集光式太陽光発電システム	太陽光を反射鏡やレンズなどで集め、太陽電池そのものの発電量を高める方式の発電システム。太陽電池の面積は受光（パネル）面積の数分の一から千分の一。
平板式太陽光発電	受光面にほぼ等しい面積の太陽電池を敷き詰めてパネルを形成したもの。一般的なソーラーパネル。
発電パネル	太陽電池にカバーや封止などを行い、屋外設置環境に耐えるようにしたもの。モジュールともいう。
発電セル	光を電気に変換する素子。いわゆる太陽電池。
追尾架台	発電パネルを常に太陽光線に直角に向ける機能を有した架台。
公称出力	標準条件の光線に対する発電量を表す。ここでは1kW/m ² の直射日光での出力値。
発電効率	受けた光エネルギーのうち、電気エネルギーに変換される割合。

【集光式太陽光発電の原理】



【発電システムの概要】

発電セル	多接合（ - 族化合物）
発電セル数	875個/基
集光レンズ	耐候性プラスチック製フレネルレンズ
集光倍率	550倍（発電パネルと発電セルの面積比）
放熱方式	筐体放熱（自然空冷）
追尾方式	2軸制御（水平回転＋仰角）
発電効率	31.5 ± 1.7%（パネル面積5,445cm ² にて計測、セル温度25℃補正值）